



ふじよしだ 議会だより

<https://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/site/gikai/>

第174号

就任あいさつ



第74代 議長
鈴木 富 蔵

第72代 副議長
渡 辺 将

市民の皆様には、平素より富士吉田市議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

このたび、令和8年第3回定例会におきまして、議員各位のご推挙により私たち両名が議長並びに副議長の重責を担わせていただくことになりました。誠に身に余る光栄であり、その職務の重大さを痛感しているところであります。

現在、私たちを取り巻く状況は、刻一刻と変化しております。本市においては、人口減少や少子高齢化といった構造的な課題に加え、先行き不透明な経済情勢にも直面しています。世界に目を向けますと、各地で紛争が絶えず、その結果として、エネルギー価格や原材料費が高騰しており、市民生活や地域経済に多大な影響を及ぼし、日々の暮らしに不安を感じている方も少なくありません。

こうした状況だからこそ、市民の声に真摯に耳を傾け、生活に寄り添った施策の実現に向けて、議会としての責任を果たしていくことが重要と考えております。議長・副議長としての責任を全うし、開かれた議会・円滑な議会運営の実現に全力を尽くしながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めてまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、就任のあいさつといたします。

6月定例会

令和8年6月定例会は、6月11日に開会し、会期を16日間とし、26日に閉会しました。

市長からは、専決処分報告として、富士吉田市税条例の一部改正など3件、報告案件として、継続費繰越計算書など2件の報告がそれぞれありました。

また、市長提出の議案14件については、すべて可決、同意されました。人事案件では、議会選出の監査委員として宮下宗昭議員が選任されました。

任期満了に伴う議会運営委員会委員及び、各常任委員会委員の選任並びに、辞職に伴う恩賜林組合会議員及び、富士五湖広域行政事務組合議会議員の補欠選挙が行われ、委員等がそれぞれ新たに選出されました。

正副議長の選挙が行われ、第74代議長に鈴木富蔵議員が、第72代副議長に渡辺将議員がそれぞれ選出されました。

市政に対する一般質問は、5名の議員が行いました。

報告案件の概要 即決案件の概要

報告第4号

専決処分報告について（富士吉

田市税条例の一部改正）

【内容】

法律の一部改正に伴い、市民税及び軽自動車税等の見直しを行うため、所要の改正を行ったもの。

報告第5号

専決処分報告について（富士吉

田市国民健康保険税条例の一部

改正）

【内容】

法律の改正に伴い、子ども・子育て支援納付金に係る国民健康保険税の課税額の規定を定め、並びに国民健康保険の被保険者に係る子ども・子育て支援納付金課税の所得割額、被保険者均等割額及び18歳以上被保

険者均等割額を定める等のため、所要の改正を行ったもの。

報告第6号

専決処分報告について（令和7年度富士吉田市一般会計補正予算第12号）

【内容】

歳入歳出にそれぞれ1億3000万円を追加し、総額を398億3509万5千円としたもの。

歳入では、指定寄附金1億3000万円を増額したものであり、歳出では、ふるさと寄附推進事業費6500万円及びふるさと振興基金積立金6500万円を増額したもの。

報告第7号

継続費繰越計算書について（令和7年度富士吉田市一般会計）

【内容】

令和7年度から令和8年度までの2か年継続事業として進めている「道の駅富士吉田リニューアル事業（R7・8継続事業）」外1件について、1404万7100円を翌年度へ通次繰越したもの。

報告第8号

繰越明許費繰越計算書について（令和7年度富士吉田市一般会計）

【内容】

「ふるさと寄附推進事業」外8件について、12億5131万9千円を翌年度へ繰越したもの。

議案第27号

令和8年度富士吉田市一般会計補正予算（第1号）

【内容】

歳入歳出にそれぞれ2450万8千円を追加し、総額を310億8450万8千円とするもの。

歳入では、ふるさと振興基金繰入金2400万円、財政調整基金繰入金50万8千円を増額するものであり、歳出では、道の駅富士吉田リニューアル事業（R7・8継続事業）費2450万8千円を増額するもの。

また、道の駅富士吉田リニューアル事業（R7・8継続事業）について、継続費の総額及び令和8年度の年割額を増額変更するもの。

議案第30号

工事請負変更契約の締結について
(道の駅富士吉田新築棟建設
(建築主体) 工事)

【内容】

「道の駅富士吉田新築棟建設(建築主体) 工事」に係る工事請負変更契約の締結であり、変更契約額13億4967万8千円で、川上建設・加々見工務店・三和建設道の駅富士吉田新築棟建設(建築主体) 工事共同企業体と契約するもの。

議案第31号

工事請負変更契約の締結について
(道の駅富士吉田新築棟建設
(機械設備) 工事)

【内容】

「道の駅富士吉田新築棟建設(機械設備) 工事」に係る工事請負変更契約の締結であり、変更契約額2億2381万1500円で、サンエイ・広瀬設備道の駅富士吉田新築棟建設(機械設備) 工事共同企業体と契約するもの。

議案第32号

工事請負変更契約の締結について
(道の駅富士吉田新築棟建設
(電気設備) 工事)

【内容】

「道の駅富士吉田新築棟建設(電気設備) 工事」に係る工事請負変更契約の締結であり、変更契約額2億8454万6900円で、桑原電業・タケカワ道の駅富士吉田新築棟建設(電気設備) 工事共同企業体と契約するもの。

議案第33号

財産の取得について(消防ポンプ自動車(CD-I型))

【内容】

富士吉田市消防団第13分団及び第15分団に貸与している消防ポンプ自動車の老朽化に伴い、新たな消防ポンプ自動車2台について、契約金額5808万円で有限会社中村ポンプ工作所より取得するもの。

議案第34号

財産の取得について(小中学校学習用端末)

【内容】

国のGIGAスクール構想に基づき、市内小中学校児童生徒の学習用端末を更新するため、タブレットパソコン3200台について、契約金額1億7832万3200円で株式会社イーティールシステムズより取得するもの。

議案第35号

富士吉田市監査委員の選任について

【内容】

委員の鈴木富蔵氏の後任に、宮下宗昭氏を選任するもの。

議案第36号

富士吉田市農業委員会委員の任命について

【内容】

委員の任期満了に伴い、新たに、渡邊孝治氏、藤井與三郎氏、小俣俊子氏、渡邊雅春氏、佐藤万吉氏、権正常夫氏、勝俣道明氏、羽田善行氏、

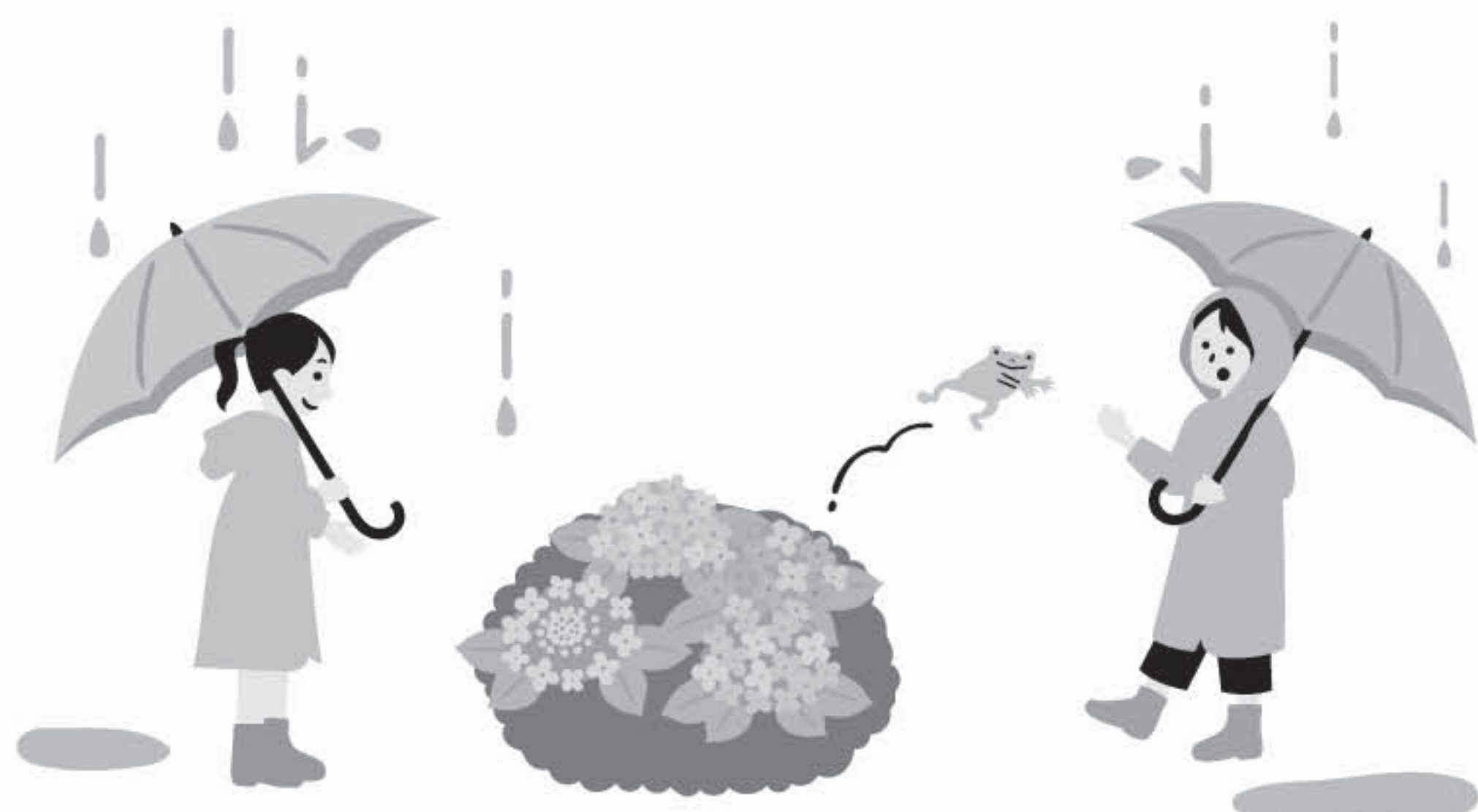
遠山まさの氏、宮下師貴氏、梶原久氏、滝口倉一氏、志村金三氏及び遠山克二氏を任命するもの。

議案第37号

富士吉田市固定資産評価審査委員会委員の選任について

【内容】

委員の宮下忠司氏及び渡邊浩氏の任期満了に伴い、後任として、羽田誠氏及び宮下孝志氏を選任するもの。



委員会の審査から

総務経済

以下5議案について慎重に審査し、いずれも妥当と認め、原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第24号

富士吉田市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について

【内容】

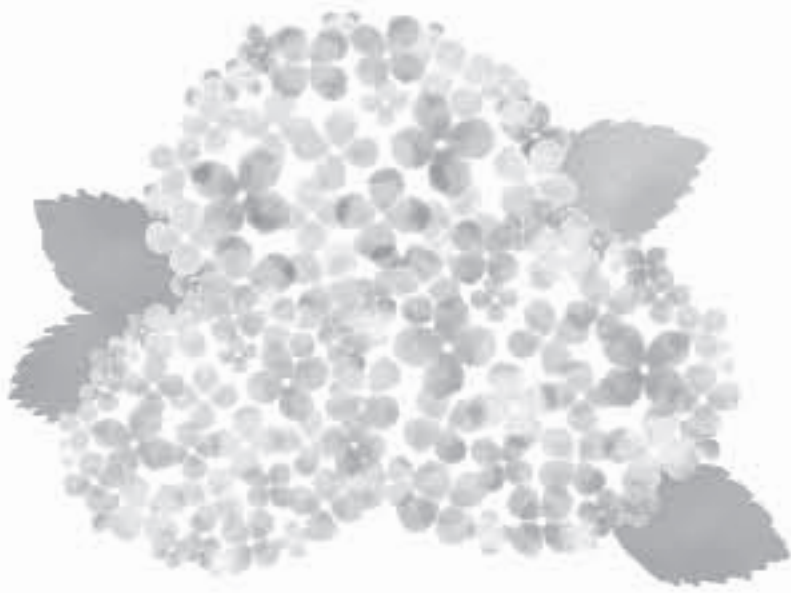
市長等の損害賠償責任の一部免責に関し必要な事項を定めるため、所要の規定を整備するもの。

議案第25号

富士吉田市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について

【内容】

職員の配偶者同行休業について定めるため、所要の規定を整備するもの。



議案第26号

富士吉田市地域経済牽引事業促進区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について

【内容】

本市における産業振興及び雇用機会の拡大を図り、長期定着を強力に推進するため、所要の改正を行うもの。

議案第28号

令和8年度富士吉田市一般会計補正予算(第2号)

【内容】

歳入歳出にそれぞれ44億3067万3千円を追加し、総額を355億1518万1千円とするもの。

歳入では、指定寄附金40億円、財政調整基金繰入金3億6713万4千円、保育園等整備交付金3752万4千円等を増額し、歳出では、ふるさと寄附推進事業費20億円、ふるさと振興基金積立金20億円、水道事業会計負担金事業費1億4600万円、企業立地促進事業費1億2500万円等を増額するもの。

また、道の駅富士吉田リニューアル事業5億2882万5千円を繰越

明許費とし、債務負担行為として、富士吉田市企業立地促進助成金3449万2千円を追加するとともに、市立小中学校教職員パソコン機器賃借料(Aグループ)を1243万2千円増額するもの。

議案第29号

富士吉田市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

【内容】

法令の施行に伴い、非常勤消防団員等に対する損害補償に係る葬祭補償の額に変更が生じたため、所要の改正を行うもの。





26日	22日	18日	6月11日
● 各議案の採決 ● 議案の追加提案 ● 委員長からの報告 本会議 (閉会)	● 付託議案の審査 総務経済委員会	● 市政一般質問 本会議	● 各議案の採決 ● 議案の委員会付託 ● 議案の提出と説明 ● 会期の決定 本会議 (開会)

会期日程



本委員会は、令和8年4月20日に開催され、「令和9年度防衛施設周辺整備事業計画（概算要求）」及び「第11次北富士演習場使用協定周辺整備5カ年計画の進捗」について協議しました。

演習場対策
特別委員会

表彰

全国市議会議長会及び山梨県市議会議長会の各定期総会において、下記の表彰が行われたことを受け、6月定例会に先立ち、表彰状と記念品の伝達が行われました。

議員永年勤続15年 一般表彰

議員永年勤続35年 特別表彰



勝俣大紀



小俣光吉



奥脇和一

6月

市政 一般質問 (抜粋)



藤井 義房
議員
(みらい)

質問全文は
こちら▼



まちづくり公社の 設立効果、各事業の進捗と 将来の展望を問う

▶ 公社の内製化で資金循環を図り、
持続可能な
地域経済を構築する

標題①

「まちづくり公社の
設立の成果と今後の
展望について」

問

ふるさと納税を活用した地域
経済の循環を持続させるた
め、民間組織としてまちづくり公社
が設立された。

ふるさと納税業務の公社への移管
と内製化がもたらす安定的効果と資
金循環の役割について伺う。

また、それが市民の生活満足度や
雇用創出にどう結び付いているか伺
う。

答

市長

専門人材の固定化による実務
の継続性と、行政コストの地域内還
流という強固な基盤を構築した。

内製化により手数料の市外流出を
抑え、寄附額は2年連続で100億
円を超えた。

外部委託費の地域内還流が経済の
底上げに直結し、雇用創出も起きて
いる。

得られた財源やノウハウを次の施
策や事業者支援に投資し、地域で資
金が回り続ける仕組みが機能し始め

ている。

問

「まちづくりファンド事業」
や「ジビエ事業」の具体的な
進捗と成果を伺う。

また、街のにぎわいが一部の地域
や層に留まっている懸念がある。

成果を全市民に行き渡らせるため
の市民への説明責任をどう果たすか
伺う。

答

市長

ファンド事業は34件のプロ
ジェクトを採択し、28店舗が開業す
るなど空き店舗解消に着実な進捗が
ある。

ジビエ事業は鳥獣被害対策を資源
循環につなげるもので、搬入頭数と
売上高が大幅に増加した。

また、寄附金の約半分の経費は実
質的な産業振興費である。

残る約5割の財源は、「七福来券」
の配布や医療費・給食費の無償化、
防災・観光基盤整備など、全市民の
暮らしに直結する施策に投入してい
る。

今後は恩恵を実感できるよう分か
りやすい情報発信に取り組む。

問

国の制度改正が続く中、ふる
さと納税に依存する自治体経
営にはリスクが伴う。

今後この財源をどう位置づけ、持
続可能なまちづくりにつなげるのか
伺う。

答

市長

制度の不確実性には強い危機
感を有している。そのため、寄附金
を消費するのではなく未来を拓く投
資に集中させるべく公社を設立した。

ふるさと納税を呼び水とし、制度
が変わっても自ら稼ぎ、街の経済を
支える仕組みを構築する。

公社を実務のパートナーとし、好
循環の果実を地域社会の隅々まで行
き渡らせる。



6月

市政 一般質問 (抜粋)



伊藤 進
議員
(政友会)

質問全文は
こちら▼



生成AIの活用方針と 関係人口の創出・拡大に 向けた施策を問う

▶ AIで業務効率化を図り、
関係人口との
強固なつながりを築く

標題①

生成AIを活用した 本市の取組について

問

生成AIの基本的な認識と今後の活用方針は何か。また、業務効率化や観光振興での具体的な状況、情報セキュリティや個人情報保護の対応について伺う。

答

市長

生成AIは業務効率化や住民サービス向上に寄与するものであり、積極的に活用を進めるべきと考えている。

答

総務部長

AIチャットボットや水理計算システムを導入し、会議録や文書作成等で業務削減効果が出ている。今後は学習制限が可能な環境を整備し、安全性を確保しながら活用を拡大する。観光面ではAIが情報取得しやすい構造へ改修し、さらなる活用を研究する。セキュリティ面ではガイドラインを策定し、秘匿性の高い情報は対象外とし、必ず職員が確認している。

問

生成AIの導入効果を職員数削減につなげるのか、住民

サービス向上などに充てるのか伺う。また、現在のAIチャットボットを多言語対応へ改良する考えはあるか伺う。

答

総務部長

現段階では職員数削減には結び付けず、業務効率化や品質向上を主眼としている。生み出された時間は住民対応や政策立案などに充てる。AIチャットボットは既に多言語化しており、外国語の質問には当該言語で回答する仕組みとなっている。

標題②

ふるさと住民登録制度と 関係人口について

問

関係人口についての認識と、ふるさと住民登録制度の導入に関する考えを伺う。また、関係人口が地域経済に与える効果と、デジタル技術を活用した施策を伺う。

答

市長

関係人口の創出・拡大は地方創生の重要な切り札である。ふるさと納税寄附者等が第二の市民へと深化している手応えを感じており、好循環の果実を地域社会へ行き渡らせる。

答

ふるさと創生室部長

寄附者などを関係人口と捉えると、その数は着実に積み上がっている。ふるさと住民登録制度は自治体の事例を参考に研究を進めている。地域経済には起業や空き家活用などの効果が出ているが、地域コミュニティとの協働には課題がある。デジタル技術を活用し、オンライン移住相談やSNSでの情報発信を継続している。

問

関係人口をどう定義し、どのような指標で把握・分析していくのか。また、関係人口と地域コミュニティを結び付けるための実証事業を小さく始めてはどうか。

答

ふるさと創生室部長

関係人口は「本市への愛着を持って継続的に関わる第二の市民」と定義している。総数ではなく、ふるさと納税のリピート率やイベント継続参加率など、関与の深さを重視する。地域コミュニティとの結び付きについては既に実証事業などを積み重ねており、現在は成功実績を生かした受入れ体制の整備など、次の段階の課題解決へ向けて動いている。

6月

市政 一般質問 (抜粋)



前田 厚子
議員
(政友会)

生命の安全教育の推進と 重度障がい者医療費の 窓口無料化を問う

▶ 安全教育は
専門講師を活用して進め、
医療費は後払い化を目指す

質問全文は
こちら▼



標題①

「生命(いのち)の安全
教育の推進について」

問

SNSを介した性犯罪の低年齢化など、子どもを取り巻く環境が変化している。国が推進する「生命の安全教育」に関する市の受け止めと、授業や外部講師を活用した今後の実施方法を伺う。

また、子どもに問題が起きた際の学校などのサポート体制と、市としての推進方針は何か。

答

教育長

国の指針を待たず、実態に即した安全教育を実践してきた。担任等の指導に加え、産婦人科医などの専門職を外部講師に招き、発達段階に応じた教育を行っている。

サポート体制は、校内委員会による組織的対応と関係機関との連携で包括的支援を行っており、今後も指導体制の充実に努める。

問

文部科学省の指針による全国的な推進が図られる中、本市の学校ごとの指導内容の違いは何か。

市内小学校での外部講師を招いた

答

教育長

先進事例を踏まえ、今後の教育現場への展開をどう進めるか。

全校共通の教科書による系統的な学習と併せ、各学校が主体的に創意工夫した教育を展開している。

先進事例は県指定事業だが、他校も独自に専門講師を招いている。今後は9年間を通じた教育が重要であり、実践事例の共有や専門講師の活用支援、教職員の指導力向上を図る。

標題②

「重度心身障がい者
医療費・窓口無料化の
システムについて」

問

重度心身障がい者の医療費について、県が導入したスマートフォン決済システムの対象者数と実際の利用者数は何名か。

また、県が新たに開始した窓口での現金支払いを不要とする後払いモデル事業へ、市立病院も参加すべきであるが、市長の見解を伺う。

答

市民生活部長

対象者は1335名であるが、

利用できる医療機関が限られ、使い勝手も悪いため、システムの利用者は現在いない。

県の後払いモデル事業への参加については、負担軽減と利便性向上が図られるため、既に参加に向けた取組を進めている。

問

モデル事業への参加はいつ頃の導入を予定しているか。

また、県への申込み手続きが煩雑なため、市や市立病院の窓口でも申込みが可能になるよう工夫できないか。

答

市立病院事務長

システムの改修等を経て、本年度中の導入を目指す。

申込み窓口については、市窓口への書類常備や案内体制を整えるとともに、市立病院の窓口でも申込みが可能となるよう検討する。



6月

市政 一般質問 (抜粋)



勝俣 大紀
議員
(みらい)

地域防災の担い手支援、 外国人対応、通信多重化、 法面对策を問う

▶ 防災士養成や多言語対応を行い、
通信多重化、法面の安全確保に
努める

質問全文は
こちら▼



標題①

地域防災計画について

問

地域防災の中核である自主防災組織は、高齢化や担い手不足により運営の実効性に懸念がある。各地区の自主防災組織と防災士を連携させるため、行政主導で防災士の継続的な養成とマッチングを行うべきであるが見解を伺う。

また、市民参加を拡充する訓練の実施方法や検証、出前講座などの防災啓発の進め方、さらに外国人等の帰宅困難者に対する多言語対応や避難マニュアルの整備をどう進めるか。

答

市長

防災士の養成講座を活用し、毎年数名の防災士を養成している。資格を有しながら未登録の者に富士吉田防災士会への参加を促し、自主防災組織との能動的なマッチングに努める。

訓練は、本年度から学校や企業、病院などと同日に開催できるよう調整し、市民参加の拡充や意識高揚につなげる。

検証結果は防災計画等に反映し、

出前講座などの啓発活動も推進する。

外国人には多言語対応の防災アプリや県のサイトの活用を呼びかけ、市の防災マニュアルは3か国語で作成して配布する。

帰宅困難者は基本として帰宅を促すが、状況に応じて観光事業者の対策や市の避難所へ案内する。

問

災害時の情報通信システム整備計画に関し、通信障害を想定したアマチュア無線団体等との協力を含む通信体制の多重化と、非常時通信訓練の実施状況を伺う。

また、風水害等災害予防計画に関し、小明見地区の御伊勢山で崩落している箇所危険認識、点検状況、復旧計画などの対策をどう進めるか。

答

市長

通信体制の多重化については、防災行政放送を基本に県や警察等の無線、災害時優先電話を活用するとともに、携帯電話等の防災アプリによる情報発信体制を構築している。

市内にアマチュア無線の拠点クラブはないため、県支部との連携を検

討する。

御伊勢山の崩壊対策については、土砂流出を抑えるブルーシートの設置や市道の通行止めなどの緊急措置を講じた。当該箇所は人工的な切土であり、県の急傾斜地崩壊対策事業の対象外であるため、本年度に専門業者と現地立会いを行い、市として効果的な工法を検討する。引き続き安全確保に努める。



6月

市政 一般質問 (抜粋)



秋山 晃一
議員
(無会派)

猛暑から市民を守る対策と、 物価高騰に対する 経済支援策を問う

▶ 実情に応じた暑さ対策と、
適時適切な経済支援を
実施する

質問全文は
こちら▼



標題①

気候の温暖化から市民の
健康を守ることにについて

問

クーリングシエルトアの拡充
状況はどうか。

また、外出困難者への暑さ対策と
熱中症対策用品の補助制度創設につ
いて伺う。

さらに、公営住宅の冷房設置につ
いて、意向調査の有無を伺う。

答

市民生活部長

シエルトアは民間施設4か所
等を本年度から追加指定する予定で
ある。

外出困難者へは関係機関と連携し
て予防行動を促し、声かけ等を行う
とともに、外出支援による暑さをし
のぐ場所への誘導を実施している。

熱中症対策用品の補助は生活実態
に応じた支援を重視しており、費用は
自己負担が原則であるため実施しない。

冷房設置の意向調査は実施してい
ないが申請で許可している。今後も、
引き続き適切な施設管理を行う。

問

外出困難者への対策を具体的
に答弁願う。

また、暑さ対策用品への補助は、

市民の意識を変えるきっかけになる
のではないかと思うが、どのように
考えているか。

さらに、公営住宅の冷房設備設置
について、周知や相談の状況はどうか。

答

市民生活部長

地域包括支援センター等が連
携し、見守りなど寄り添った支援を
行う。

生活様式は行政が一律に定めるも
のではなく、伴走型の支援が暑さ対
策に通じると考える。

公営住宅での周知は入居時等に行
い、一定の機能を果たしている。

問

他市のエアコン補助事例も検
証し、支援策を検討すべきで
はないか。

答

市民生活部長

他市事例は温室効果ガス抑制
が目的で趣旨が異なる。適切な対応
につなげることが暑さ対策となるた
め、市民への購入補助は実施しない。

標題②

中東情勢の影響から市民の生
活と営業を守る施策について

問

中東情勢による物価高騰に対
し、相談窓口の設置や資金支

援、市発注工事への影響把握につい
て対応を伺う。

答

市長

危機感を抱いており、先手の
対策を実施してきた。

答

経済環境部長

商工会議所等と連携し利子補
給を検討中である。発注工事は調達
可能な部材で設計し、全て落札され
ている。

問

発注工事での工期延長等の柔
軟な適用と、物価高騰への支
援をどう検討するか。

答

経済環境部長

着工後の価格高騰等は協議し
て収益圧迫を防ぐ。経済対策は本来
国が行うべきだが、動向を注視し市
独自の施策を判断する。

問

国の重点支援地方交付金はど
う活用するか。

答

市長

市はこれまでも国を上回る財
源を投入してきた。今回の交付金も
制度詳細を踏まえ、本市の実情に即
して活用する。

令和 8 年第 3 回定例会 議案等審議結果

(賛成○ 反対● 退席◆ 除斥◇ 欠席△ 賛成討論者☆ 反対討論者★ 当選者□)

議案等番号	案 件	付託委員会等	太田利政	奥脇和一	渡辺利彦	戸田元	渡辺幸寿	勝俣米治	横山勇志	小俣光吉	前田厚子	勝俣大紀	秋山晃一	宮下宗昭	渡辺新喜	鈴木富蔵	藤原栄作	伊藤進	渡辺将	藤田徹	滝口晴夫	藤井義房	審議結果
報告第4号	専決処分報告について（富士吉田市税条例の一部改正）	6/11 即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	承認
報告第5号	専決処分報告について（富士吉田市国民健康保険税条例の一部改正）	6/11 即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	承認
報告第6号	専決処分報告について（令和7年度富士吉田市一般会計補正予算第12号）	6/11 即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	承認
報告第7号	継続費繰越計算書について（令和7年度富士吉田市一般会計）	6/11 報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	報告
報告第8号	繰越明許費繰越計算書について（令和7年度富士吉田市一般会計）	6/11 報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	報告
議案第24号	富士吉田市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	総務 経済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第25号	富士吉田市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	総務 経済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第26号	富士吉田市地域経済牽引事業促進区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	総務 経済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第27号	令和8年度富士吉田市一般会計補正予算（第1号）	6/11 即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第28号	令和8年度富士吉田市一般会計補正予算（第2号）	総務 経済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第29号	富士吉田市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	総務 経済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	工事請負変更契約の締結について（道の駅富士吉田新築棟建設（建築主体）工事）	6/26 即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第31号	工事請負変更契約の締結について（道の駅富士吉田新築棟建設（機械設備）工事）	6/26 即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	工事請負変更契約の締結について（道の駅富士吉田新築棟建設（電気設備）工事）	6/26 即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	財産の取得について（消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型））	6/26 即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案等番号	案 件	付託委員会等	太田利政	奥脇和一	渡辺利彦	戸田元	渡辺幸寿	勝俣米治	横山勇志	小俣光吉	前田厚子	勝俣大紀	秋山晃一	宮下宗昭	渡辺新喜	鈴木富蔵	藤原栄作	伊藤進	渡辺将	藤田徹	滝口晴夫	藤井義房	審議結果
議案第34号	財産の取得について（小中学校学習用端末）	6/26即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	富士吉田市監査委員の選任について	6/26即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◇	議長	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第36号	富士吉田市農業委員会委員の任命について	6/26即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第37号	富士吉田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	6/26即決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	同意
選任第1号	富士吉田市議会議会運営委員会委員の選任について	指名	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	議長	－	－	－	－	－	－	－	選任
選任第2号	富士吉田市議会常任委員会委員の選任について	指名	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	議長	－	－	－	－	－	－	－	選任
選挙第1号	富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合議員の補欠選挙について	指名推選													議長							□	当選
選挙第2号	富士五湖広域行政事務組合議会議員の補欠選挙について	指名推選			□				□						議長		□						当選
選挙第3号	富士吉田市議会議長の選挙について	投票														□					議長		当選
選挙第4号	富士吉田市議会副議長の選挙について	指名推選														議長			□				当選



9月定例会開催予定						
日 30	月 31	火 1	水 2	木 3	金 4	土 5
			本会議 (開会) 14:00			
6	7	8	9	10	11	12
			本会議 (一般質問) 13:00	本会議 (一般質問) 13:00		
13	14	15	16	17	18	19
	決算特別 委員会 10:00	決算特別 委員会 10:00	決算特別 委員会 10:00	常任委員会 (総務経済) 10:00		
20	21	22	23	24	25	26
				常任委員会 (文教厚生) 10:00	常任委員会 (建設水道) 10:00	
27	28	29	30	1	2	3
		本会議 (閉会) 14:00				

※招集告示は8月21日(金)となります。

本会議・常任委員会を傍聴しませんか！！

本会議・常任委員会を傍聴することができます。日程は左表にてご確認ください。なお、議会運営上、開会時間を過ぎる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

●傍聴受付：いずれも開始15分前より受付

本 会 議

 当日、議場傍聴席入口にて受付。

常任委員会

 当日、本庁2階議会事務局にて受付。常任委員会開催場所は、本庁3階大委員会室。

※詳細は議会事務局までお問合せください。

☎0555-22-0612

富士山火山砂防事業(富士山北麓地区)

浅間沢遊砂地整備工事現地視察

令和8年5月26日

現在施工中である浅間沢遊砂地整備工事について、現地視察が実施され、市議会議員も参加いたしました。

浅間沢遊砂地は、富士山北麓(富士吉田市上吉田)で整備が進められている国直轄の砂防施設であり、富士山の噴火や豪雨時に発生する土石流や土砂などから地域を守ることを目的とした、地域防災の^{かなめ}要となる施設です。

今回の視察では、国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所の担当者より、砂防施設建設の意義や目的、並びに現在の施設整備の進捗状況について説明を受け、施工現場を直接確認する中で、本市の防災・減災に向けた理解を深めました。



編集後記

富士吉田市議会だより第174号をお届けいたします。

6月の定例会において、正副議長の就退任のほか、各委員会構成の変更がありました。新たな体制で市政の発展に向け、議員一同、全力で取り組んでまいります。

また、議会だより編集委員会においても、新たなメンバーで誌面の充実に努めてまいります。

本号より、市政一般質問の掲載方法を変更いたしました。質問議員ごとに1ページで要約を掲載し、全文については二次元コードからご覧いただけるようにしております。

本会議や常任委員会は傍聴が可能です。ぜひ議会へお越しいただき、新体制の議会活動をご覧ください。

(小俣 光吉)

議会だより編集委員会

委員長 小俣 光吉

副委員長 前田 厚子

委員 渡辺 幸寿／勝俣 米治／渡辺 新喜／滝口 晴夫

委員会構成の紹介

●議会運営委員会



委員長 小俣光吉
副委員長 前田厚子
委員 渡辺幸寿・勝俣米治
渡辺新喜・滝口晴夫

●総務経済委員会



委員長 伊藤 進
副委員長 藤田 徹
委員 渡辺利彦・渡辺幸寿・横山勇志
渡辺新喜・鈴木富蔵

●文教厚生委員会



委員長 藤井義房
副委員長 滝口晴夫
委員 奥脇和一・小俣光吉・前田厚子
秋山晃一・渡辺 将

●建設水道委員会



委員長 藤原栄作
副委員長 勝俣大紀
委員 太田利政・戸田 元
勝俣米治・宮下宗昭

●富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合会議員

太田利政・奥脇和一・小俣光吉・勝俣大紀・宮下宗昭・渡辺新喜・藤原栄作・藤田 徹・藤井義房

●富士五湖広域行政事務組合議会議員

渡辺利彦・渡辺幸寿・横山勇志・前田厚子・藤原栄作・渡辺 将・滝口晴夫

年4回 市内全域配布

ふじよしだ議会だより 企業広告大募集!

※詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

富士吉田市議会事務局
☎0555-22-0612(直通)

富士吉田市議会のホームページは
こちらのQRコードからご覧にな
れます。ぜひご活用ください。



※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。